

# 変わる！JR松山駅付近

## 待望の高架切替え

## 新駅舎になって、より快適・便利に！

※9月12日時点の情報。天候等により切替え日が変更になる場合があります。

平成20年度から始まった「JR松山駅付近連続立体交差事業」。JR松山駅を中心とする約2.4km間の高架化(道路と鉄道の連続的な立体交差化)が進められてきました。9月29日(日)に、高架切替えし、駅舎が新しくなります！

従来の松山駅周辺は、南北に走るJR予讃線と車両基地・貨物駅による市街地の東西分断や、踏切による日常的な交通渋滞に

より、地域住民の生活に支障を来しており、駅周辺の都市機能の発展を図るうえで、鉄道の高架化が大きな課題となっていました。そこで県では、当事業に取り組み、交通環境の大幅な改善を図るとともに、松山市が行う土地区画整理事業等と一体的な整備を進め、県都松山の陸の玄関口にふさわしい、魅力あるまちづくりを目指します。

## 新しくなる松山駅付近



新・松山駅にぜひお越しください！



## 松山近郊を走るJR予讃線が変わります！



## 今後は8箇所の踏切を撤去 高架区間沿線の交通環境が向上します

鉄道の高架化とまちづくりを一体的に行うことで、駅および駅周辺地域全体の活性化を図っています。本事業で、松山市美沢2丁目～空港通1丁目にある8箇所の踏切を撤去することにより、踏切渋滞や踏切事故が解消されます。今後は、駅周辺の道路の整備により、交通の円滑化を図ります。

また、列車が走行するレールには約

25m毎に継ぎ目があることから、ガタンゴトンという音が生じていましたが、高架化に合わせてロングレール※を設置することで、走行音が低減されます。

JR松山駅もバリアフリー化され、誰もが安心して利用できるようになります。

※1本のレールが200m以上になるよう溶接し、従来の継ぎ目を少なくすることにより騒音や振動を解消するレール

## TOPICS

### 新駅舎にも注目！

#### ① 県都松山の陸の玄関口としてより便利に

駅西口ができることで、駅西側のアクセスが改善。今後、路面電車が松山駅前に乗り入れることで、交通結節点としての機能が向上します。



#### ② 安全・快適な駅舎とプラットホーム

71年ぶりの建替えとなる松山駅。3代目となる駅舎は2階建となり、天井や内装には愛媛県産スギ・ヒノキを使用。やわらかな雰囲気と乗客を迎えます。1階にはJR四国初となるウォークイン改札、2階には待合室やall gender(男女共用)トイレを設置。新ホームは2面4線になり、対面乗り換えが可能です。エレベーターやエスカレーターなども整備し、バリアフリーで安全・快適な駅に生まれ変わります。



#### ③ 高架下空間の有効活用

鉄道を高架化することで生み出された高架下空間には、新たな賑わいの場となる商業施設(JR松山駅だんだん通り)や、公共的な利用(駐輪場等)など、さまざまな有効活用がなされます。

